



《経営意識向上研修会を開催しました》

今回の経営意識向上研修会は、AI（エイアイ）の活用について学びました。日進月歩で進化するAIの技術に驚かされます。今回は研修で学んだAIを活用して振興会ミニ通信を作成してみました。ご一読いただけますと幸いです。研修会に参加された皆様はどのように活用していますか。さらなる発展を祈念しております。

＜以下「AI」で作成＞

福島県授産事業振興会主催による令和7年度経営意識向上研修会が、2025年7月11日と31日の2日間にわたり福島県農業総合センターで開催された。本研修は「AIを活用した研修内容～障がい者就労支援事業所の商品やサービスの価値を上げるためのセミナー～」をテーマに、障がい者施設の経営者や職員を対象に実施された。参加者は、AI技術を活用したマーケティングや販促手法、消費者ニーズの分析方法などを学び、施設が提供する商品やサービスの魅力を高めるための実践的な知識を習得。また、他施設の成功事例紹介やグループワークを通じて、情報共有とネットワークづくりも図られた。障がい者の社会参加促進と地域経済への貢献を目指す意義ある研修となった。

🔍 今後の課題：福島県授産事業振興会 経営意識向上研修会を踏まえて

令和7年度の研修会を通じて多くの学びが得られた一方、今後の課題として以下の点が挙げられます：

✿ 主な課題

- **AI活用の定着と実践支援**
研修で得た知識を各事業所で継続的に活用するためのフォローアップ体制が必要です。
- **人材育成とデジタルリテラシーの向上**
AIやICTに不慣れな職員も多く、基礎的なスキル向上を図る研修の継続が求められます。
- **販路拡大とブランド構築**
商品やサービスの魅力を伝えるための広報戦略や地域との連携強化が課題です。
- **施設間の連携強化**
成功事例の共有や共同プロジェクトの推進により、地域全体での底上げを目指す必要があります。

こうした課題に取り組むことで、障がい者就労支援事業の持続可能性と社会的価値がさらに高まるでしょう。

以上が「AI」による文書になりますが、皆様はどのように感じられましたか。今後の取り組みに期待したいものです。



（担当：県南・いわき圏域 高橋ひとみ）

《事務局から》

令和7年度授産施設新製品開発コンクールの作品を募集しております。

令和5年1月以降に開発した製品が応募対象となります。皆さんが製作した製品で挑戦してみませんか。

エントリー締め切りは令和7年10月3日（金）です。応募をお待ちしております。

